

シャジクモ科

ナガホノフラスコモ

Nitella spiciformis Morioka

兵庫県ランク… A

環境省ランク… CR

■ 県内分布

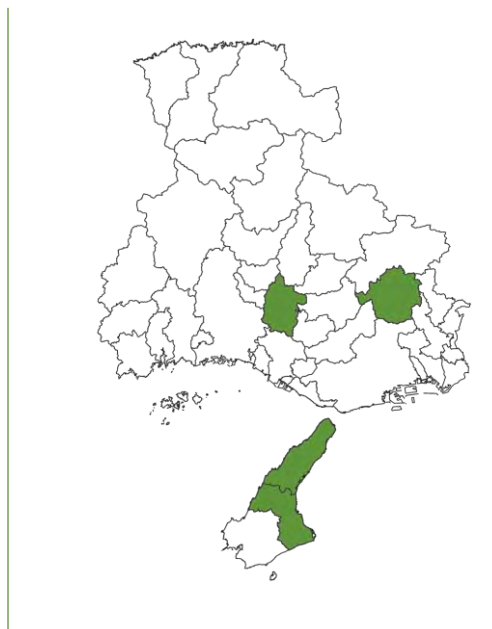
三田市、加西市、洲本市、淡路市

■ 国内分布

北海道、本州

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊	○	特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

過去の確認情報は多いが、それ以外の場所では見つからない。

■ 保護上の留意点

ため池の改修の際に注意を要する。



写真提供：佐藤裕司

■ 種の概要

雌雄同株。藻体は10-15cmで、1-2回分枝。生殖器がつく結実枝は穂状に分化、1-2回分枝し、寒天質に包まれる。卵胞子は淡褐色で長さ260-300μm、幅200-240μm。らせん縁は顕著で翼状に突出。卵胞子膜は粒状ないし虫様。藻体は10-15cmで不結実期は外見ヒメフラスコモに似ている。不結実枝は1-2回分枝し、第1分枝は小枝全長の約2/3、第2分枝は2-4本、第3分枝は2-3本からなる。最終枝は常に2細胞からなり、短縮することはない。ため池に生育。